

という絵を使って表した。

### 《完全なパートナーシップ》

「われわれが生きている時代は、産業革命の時代と同様に、多くの人々が排除を経験している。社会的排除、富の不平等な分配と失業は、民主主義と平和の双方に対する深刻な脅威だ。これらの問題こそ、協同の新たな挑戦課題であり、第二の協同の波の中に私は新しい象徴を見る」

「私たちは、市場と政府の間の橋でなければならない。今日の政府は、大きな挑戦課題を抱えている。就労の保障、食の安全、環境保護、万人にとっての正義、平等な機会だ。それは協同組合が目指しているのと同じものだ。(この点から)完全なパートナーシップ

を形成することが可能だと私は考える」とロベルト・ロドリゲスは語った。

彼の結論は、私たちは協同組合のルネッサンスを必要としているし、実際にそれが起こるだろう、ということだった。「ロッチデールから始まった思想は、150年以上に渡って、その実践的な使用方法を示してきた。8億人の人びとが組合員であり、家族を含めれば、この世界に住んでいる人びとの約40%が組合員なのだ。私たちの思想と実践を今日の社会に活かすという、かけがえのない可能性が私たちにはある」。ロベルト・ロドリゲス大臣は、彼の大統領の言葉で発言を締めくくった。

「私がブラジルで協同組合共和国を組織することを手伝ってほしい」

## 「貧困削減と事業開発の道具としての協同組合」(抜粋)



ヒルデ・フラヒョルド・ヨンソン  
(ノルウェー政府国際開発大臣)  
訳 菅野正純(日本労協連)

ジャマイカの貧しい人の声を紹介させて下さい。「貧困は、牢獄の中で暮らし、奴隷の境遇の中に生き、自由になるのを待ち続けることだ」

私が今日述べたいビジョンは、人びとを主人公に高め、彼らがあらゆる場面で自分たちと家族に配慮できるようにすることを通じて、人々を解放することです。

「協同組合組織は、われらの時代に発生した最良で貴重な何ものかである」と、レオ・トルストイは、すでに1909年に述べています。

協同組合運動は、普通の人びとにとって重要なものであったし、今もそうあり続けています。協同組合は、経済発展に重要な貢献をしただけでなく、民主主義と良い政府および統治の振興における手段であり続けてきました。そしてノルウェーは、過去100年以上



に渡って、この主要な事例であり続けてきたのです。私たちは協同と民主主義の伝統を誇り、普通の人の声が聞き入れられ尊重される社会を創り上げる上で協同組合が果たした貢献に感謝しています。

しかし、発展途上世界における、普通の人の声についてはどうでしょうか？

ますますグローバル化する世界において、企業権力に対する拮抗力として、草の根レベルの社会への錨として、協同組合組織がなくては必要とされていると私は信じています。

協同組合は、真に民主的な環境の下で活動できるなら、発展途上世界の私たちのパートナー諸国において、原動力になる可能性を持っています。世界中の貧しい人びとのために、自己決定と主人公への成長に必要とされる多くの機会を、協同組合は提供することができます。そして私たちは、幾百万の人々の貧困からの脱却という私たちの目標を達成するために、そうした機会を必要としているのです。

#### 《MDG s》

2000年のミレニアム（千年紀）サミットで、世界の指導者たちは、貧困と闘うための、いわゆる「ミレニアム開発目標」MDG s (Millennium Development Goals) に署名しました。ロードマップも決められました。メキシコのモンテレイで、また昨年はヨハネスブルグで、目標だけでなく、それにどう到達するかについても合意しました。世界の貧困と闘う大きな努力が緒に着きました。これはかつて見たことのない誓約です。しかし、集合的な世界コミュニティとして、世界の貧困からの脱却の試みはまだ決して現実になされていません。UNDPの長官マーク・M. ブラウ

ンは、このことを正しく指摘しました。しかし、変化は始まっています。世界のすべての主要な指導者たちからの、このように具体的で責任を明確にした努力は、かつて見たことがないからです。

実際に、発展途上諸国と発達した諸国間のグローバルな契約が存在します。われわれは初めて、その進捗を監視することに合意しました。MDG s は、国際的な行動計画の上位に、貧しく恵まれない人々への関心を据えました。G8の指導者を含む、国家元首たちが、それをしばしば引用し、貧困が私たちの時代における最大の苦悩であることに合意しています。彼らは、協同によって、財政援助によって、首尾一貫した・配慮ある政策の遂行によって貧困と闘うことを約束しました。このことは、国際政治における最大の突破口であると信じます。いま、それをフォローアップする必要があります。

目標は野心的です。私たちは極貧のうちに暮らす人々の割合を、2015年までに半減することを誓いました。私たちは児童の死亡率を3分の2まで減らし、普遍的な初等教育に到達する責任を自らに課しています。私たちは、ジェンダーの平等と女性をエンパワーすることを自らに課しました。貧困と環境汚染は最も危険な混合であり、私たちは環境の持続可能性を保障することを、自らに課しました。私たちはHIV / AIDSおよびマラリアと闘うことを自らに課しました。主要な責任はそれらの各国自身にあります。これらすべての領域で、各国は、自らの成果と政策を改善しなければなりません。

しかしこのことは、私たち、豊かな国々を抜きに実現することはできません。世界の豊かな部分は、貧困を根絶するためのグローバルなパートナーシップにおいて必要なことを

行うよう、誓約しました。私たちは、政策を変え、よりオープンな貿易と投資システムを開発することを自らに課しました。私たちは、発展途上国の債務問題に総合的に対処し、主要な薬品を入手しうる価格で利用できるようにすることを、自らに課しました。私たちは、開発援助を増加することを誓約しました。やるべきことはたくさんあり、あまり時間はないのです。

#### 《われわれの政策および事業体開発》

貧困との闘いは、国際開発にとっての主要な挑戦課題であり、ノルウェーの発展途上国協力にとっての主要な目標です。貧困問題を成功裏に解決するためのいかなる取り組みにおいても、主要な要素は、事業体の開発です。

これは、協同組合がきわめて重要な役割を果たすべき分野です。

正しい環境が備われれば、協同組合は、ノルウェーの国内建設に果たしたのと同様、発展途上国の貧困削減においても成功裏に役割を果たせることは間違いありません。このことは世界中から寄せられた良いニュースによって確認されています。私たちが求めている積極的な変化を示すような、いくつかの事例に光を当ててみましょう。

#### 《バングラデシュにおける女性たち》

カリマという女性が、南バングラデシュにある彼女の村で、他の土地なし女性たちを結集し、お金を貯めて緊急の時の薬品を買うことにしました。彼女たちは村の先生が自分たちを教えるよう説得して、読み書きと基本的な帳簿がつけられるようにしました。組合員は急速に拡大しました。彼女たちは、お金をプールし、小さな土地の一角を借り、ジャガ

イモとサトウキビを育てることを決めました。彼女たちは、ついには地域の市場に野菜を供給し始めました。彼女たちの前進のニュースは、村から村へ伝わり、2年も経たないうちに、千人を超える土地なし女性が30の協同組合組織を形成するに至りました。これらの組織のいくつかはいま、自分たち自身の学校を運営し、保健や育児、より良い耕作方法を教えています。

#### 《インドのミルク協同組合：白の革命》

緑の革命の発祥地であるインドは、いま再び、白の革命 ミルク協同組合の発祥地となっています。これらの協同組合では、630万人の生産者組合員が(そのうち60%は、土地なし、ないしは周辺化された農民である)まともに暮らせるようになっていいる。1994年には、これによって、75億USドルの追加国民所得が生み出され、貧しい人々の利益となっています。成功した協同組合の成果は普及し、農民の戸口で止まりませんでした。しかし、インドの経験は、成功する協同組合と不成功に終わった協同組合との違いについて多くのことを私たちに教えています。以下がその教訓です。

- 1 .成功した協同組合は、農民が管理(コントロール)しているが、経営は専門的にされている。それらは、農民の報酬を最大化し、しっかりと予算管理されている。
- 2 .不成功に終わった協同組合は、政府によって管理され、政治家やスタッフの利益を最大化し、予算管理はあいまいである。

(中略)

コフィ・アナンは言っています。「今日のきわめて不平等な世界における敗者は、グ

ローバリゼーションにあまりに多くさらされている人々ではない。そこから取り残された人々が敗者となっているのだ」

取り残されることが、最悪の運命です。そして、取り残された、巨大な数の人々は、われわれの注意と行動に値します。世界の指導者たちは、自分たちの注意を4つの領域に向けています。それはいずれも、大きな変化をいま必要とするものです。私はそれを「4つの戦線」と呼びます。

協同組合は、これら4つの戦線すべてにおいて、果たすべき重要な役割を有しています。

国際的な枠組みとなる条件の改善

市場へのより容易な接近と持続可能な債務削減

良好な統治（ガバナンス）

より多く・より良い寄付者の支援

協同組合はそうした援助の、きわめて効率的な利用者となりえます。

MGDs 達成の活動に民間セクターと草の根組織を引き入れること

協同組合は、事業体および草の根の動員者として、重要なパートナーです。

協同組合組織は、これらの4つの戦線すべてにおいて、決定的な影響を及ぼすことができると信じます。国内的・国際的な、より公正な政策の推進者として、多国籍企業ネットワークへの拮抗力として、それなしには声を聴かれることもない人々の声の出口として。

ビルマの反体制指導者アウン・サン・スウ・チーは述べています。「人々は、自分たちは弱いと感じています。私たちは、彼らに、自分たちは弱くないのだということを理解させなければならないのです！彼らは変革に貢献できるのです！」

グローバリゼーションは、今日、世界のほ

とんどすべての地域に、肯定的・否定的な影響をもたらしています。貧しい人々の声は、商業の合唱の中にしばしば消されかねません。協同組合運動という、あなた方のような組織が、草の根レベルで人々を主人公に高める上で、果たすべきかけがえのない役割を持っていると私は信じます。

バルベリーニ会長のまとめ

### 「貧困に反対するグローバルな同盟」

われわれは未来に焦点を当て、協同組合運動が将来においても社会で欠くことのできない役割を果せるという気持ちを強めている。

協同組合運動は、自らに希望と確信をもってしていると私は思うし、それによってわれわれが実現しようとする挑戦課題に立ち向かう能力が与えられていると思う。

協同組合運動の中にいるわれわれにとってきわめて大切なことは、貧困に反対するグローバルな同盟において、政府や市民社会と強力なパートナーシップを組むことだ。

そうした協同の好例として、最近私は、94歳の女性リタ・レビ・モンタシーニからのメッセージを受け取った。彼女はノーベル医学賞受賞者であり、社会活動においてもきわめて積極的で、アフリカの女性のための教育を支援する財団を創設した人だ。今回、彼女は、共通のプロジェクトに関する合意を呼びかけてきた。

協同組合運動が同時代の最も重要な問題に参加することは、重要だ。政府と社会の両方の、たくさんのパートナーと一緒にすることで、われわれは貧困に反対するグローバルな同盟を形成することができる。われわれは、そうした重大な問題に対して、ビジョンと具体的な方略の両方を持っているのだ。